

活動内容

協議会に先立つ役員会での議論の結果、災害に強いまちづくりの実現は急務であり、協議を継続させる必要があるとして、感染拡大防止に最大限留意しつつ協議会を開催しました。策定した「まちづくり基本計画」をベースに、今後より詳細なまちづくりの検討を進めていくこととなりました。

【造幣局南地区 まちづくり基本計画】 まちづくりのコンセプトについて

1 災害に強く安心して暮らせる

- ①大地震や火事が起こっても、燃え広がらないまちにします。
- ②防災公園とも連携して、安全性の高いまちを実現します。
- ③自助・共助の活動を支える心地よい空間をつくります。



＜安全・安心なまちのイメージ＞

【上位計画】

- 防災公園への避難経路の確保 ^{*1}
- 未接道宅地、旧耐震住宅、狭小宅地の解消 ^{*1}
- 補助81号線沿道の延焼遮断帯の形成 ^{*1}

【まちづくりの方針】

- 防災性の高いまち

【平成30年度協議会での意見交換】【令和元年度個別意向確認】

- 老朽住宅が多く火災が心配、避難経路や避難場所の確保
- 道が狭く、有事のときに消防車、救急車が入れない

2 まちの良さを活かし、人のつながりや活動を生む

- ①便利さとおちつきが同居する地区の特徴を活かし、魅力的なまちをつくります。
- ②地区周辺とのつながりを強める一方で、住宅地としてのおちつきや人のつながりをまもります。
- ③地形やコミュニティなどのこのまちの特徴を大切に、活かしていきます。



＜境界でつながりの生まれる空間イメージ＞

【上位計画】

- 池袋副都心と大塚・雑司が谷を結ぶ新たな人の流れを生み出す ^{*1}
- 建物低層部と防災公園の一体的な利用による賑わいの空間づくり ^{*2}

【まちづくりの方針】

- 利便性の高いまち ●コミュニティの息づくまち ●静かな住環境

【平成30年度協議会での意見交換】【令和元年度個別意向確認】

- コミュニティの助け合いのしくみづくり
- 地域に愛着がある、地域の人の交流の場
- 賑わい・つながりのきっかけの場がある

3 都心近接の立地を活かした多様な暮らし方を実現する

- ①みどりあふれる防災公園と相まった、新しい都心近接のライフスタイルを提案します。
- ②ライフステージ、家族構成など、多様な暮らしのニーズに応える住まいと施設を展開し、住み続けられるまちをつくります。
- ③生活に密着する店舗やサービスなどの機能を誘致し、さらに利便性の高いまちをつくります。



【上位計画】

- 都市開発諸制度による再開発事業等の推進 ^{*3}
- 交通利便性を生かし、利便性の高い良好な居住環境の創出 ^{*1}
- 緑の潤いが感じられる安全で快適な街並みを形成 ^{*1}

【まちづくりの方針】

- 安全・安心で住み続けられる、魅力あるまち
- 利便性の高いまち ●緑の多いまち ●きれいな街並み

【平成30年度協議会での意見交換】【令和元年度個別意向確認】

- 色々なタイプの建物・住戸・住宅
- 個人の自由度の高い住まい方を希望
- マンション生活への不安（近隣関係、経済的負担等）

まちづくりのコンセプト

多様な暮らしが出会い、つながる、みどりあふれる都市の“縁がわ”

注釈)

※上位計画は ^{*1} 池袋駅周辺基盤整備方針2018

^{*2} 造幣局地区街づくり計画

^{*3} 豊島区都市づくりビジョン

※まちづくりの方針は、造幣局南地区まちづくり構想（平成29年3月）